

# さいたま市公民館運営審議会第2回会議 議事録

## 1 開催日時

令和4年3月15日（火） 午後3時00分から午後4時30分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

## 3 出席者

〈委員：10名〉

- ① 山中 冴子 委員長
- ② 加藤 美幸 副委員長
- ③ 浅野 博一 委員
- ④ 大塚 晶子 委員
- ⑤ 加藤 恒 委員
- ⑥ 栗原 保 委員
- ⑦ 小林 玲子 委員
- ⑧ 丹 能成 委員
- ⑨ 寺田 道子 委員
- ⑩ 山崎 栄慈 委員

〈拠点公民館職員：10名〉

- |       |          |        |
|-------|----------|--------|
| ① 西区  | 指扇公民館長   | 芳賀 善久  |
| ② 北区  | 大砂土公民館長  | 桑原 健司  |
| ③ 大宮区 | 桜木公民館長   | 大嶋 真浪  |
| ④ 見沼区 | 大砂土東公民館長 | 辰市 健太郎 |
| ⑤ 中央区 | 鈴谷公民館長   | 掛川 雅世  |
| ⑥ 桜区  | 田島公民館長   | 内ヶ嶋 直哉 |
| ⑦ 浦和区 | 岸町公民館長   | 星野 務   |
| ⑧ 南区  | 文蔵公民館長   | 押田 龍彦  |
| ⑨ 緑区  | 大古里公民館長  | 春日 徹也  |
| ⑩ 岩槻区 | 岩槻本丸公民館長 | 大野 浩   |

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| ① 館長            | 吉田 治士  |
| ② 参事兼副館長        | 中村 和哉  |
| ③ 主幹兼事業・企画係長    | 有江 良修  |
| ④ 事業・企画係主任      | 曾根 啓佑  |
| ⑤ 事業・企画係社会教育指導員 | 伏見 浩美  |
| ⑥ 事業・企画係社会教育指導員 | 松本 みはる |

4 欠席者名

〈委員：2名〉

①石田 玲子 委員 ②島田 正次 委員

5 議題等

- ・ I C T関連事業事例報告について
- ・ I C T関連事業アンケートについて
- ・ e 公民館の紹介について
- ・ 第 1 1 期さいたま市公民館運営審議会スケジュールについて
- ・ さいたま市公民館ビジョン取組状況について
- ・ 障害者の生涯学習を推進する事業周知用チラシについて
- ・ 優良公民館表彰について

6 配布資料

- (1) さいたま市公民館運営審議会第 2 回会議次第
- (2) さいたま市公民館運営審議会第 2 回会議名簿
- (3) さいたま市公民館運営審議会第 2 回会議席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会第 1 回会議議事録 (案)
- (5) I C T関連事業事例報告書
- (6) さいたま市公民館事業アンケート
- (7) さいたま市公民館運営審議会スケジュール
- (8) 令和 4 年度公民館事業一覧 (抜粋)

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0 名

9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

- ・冒頭、ICT関連事業事例報告書について説明を事務局より行い、各区拠点公民館長より事例発表を行った。

加藤（恒）委員	事例発表の中で、講座実施時にタブレット端末を講師に用意してもらった館があったが、公民館で利用できるパソコン端末やタブレット端末などの通信機器及び通信環境は、全市的に統一されているのか。それとも区によって違いがあるのか。
事務局	全市的に統一されていない。公民館によってはパソコンルームがある館もあるが、それ以外の館は講師が用意してくれたパソコン端末やタブレット端末を借りる等している。公民館によって環境が違う点は課題だと思っている。通信環境についても同様で、指扇公民館などのようにWi-Fi環境が整っている館もあれば、整備されていない館もある。指扇公民館の他にも、生涯学習総合センターや鈴谷公民館、岸町公民館でも整備されており、パソコン教室などを開催している。来年度は、各区拠点公民館にWi-Fi環境を整備する予定である。
小林委員	講師が用意したタブレット端末について補足になるが、宮原公民館で行われた講座はプログラミングに関する内容ということで、おそらくビスケットというプログラミングツールを使用されたかと思うが、ビスケットの協会会員になっていればタブレットを借用できるため、講師自前のもではなかった可能性がある。ただ、自前の端末で講師をやられている方も実際いるため、そちらの講師に依頼された館もあるかもしれない。ビスケットやzoomについてはスマートフォンでも使用可能であるため、「タブレット端末がなければ実施できない」という固定概念にとらわれることなく、市民が広く一律に受講可能となる講座の展開を考えていくべきである。しかしながら、zoomを活用した講座は良い取組であるし、これからさらに拡充していくべきだと感じた。また、スマートフォンに関する内容の講座を実施後に、写真展を開催した緑区の取組について、これこそ公民館ができるデジタルトランスフォーメーションの第1歩だと思った。そのように思った理由としては、公民館講座の講師をしていると、「公民館は地域の人々のためのものである」という認識が強く、公民館と地域の人々の関係性が双方向的でないと感じざるを得ないところがあり、地域の人々からも何かしら貢献があっても良いのではないかと日ごろから思っていたためである。そういった意味で、この緑区の取組は素晴らしい。その他、岩槻区の取組も素晴らしかったが、共通して言える課題として、セキュリティ面での配慮が足りていない。また、高齢者だと月々に使用するデータ通信量が低い方が多いと思うが、そのような方々がスマートフォン講座に参加された場合に、データ通信量が高くなるよう留意すべきである。話は変わり、公民館では「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」を謳っているが、公民館を通じて地域を盛り上げようというのであれば、学生との交流やツイッターやSNSを利用したの周知が非常

	<p>に効果があると思う。ただし、世代により使用している SNS が異なるため、インスタグラムなども使用できると良い。また、若年層の方々を対象に zoom を活用した IT 講座を実施すると若者を取り込みやすいと思う。</p>
事務局	<p>先ほど申し上げたとおり、デジタルトランスフォーメーション推進事業ということで来年度より公民館に Wi-Fi 環境を整備するための予算を獲得した次第である。市の情報を積極的にデジタル化して発信していく中で、デジタルデバイドの問題が生じているが、いわゆる情報弱者といわれる方々が正確に情報を取得できるような環境を地域に身近な公民館において整備していくことが大切であると考えている。コロナ禍で環境が激変したこともあり、ハード面の整備が追いついていない部分はあるが、その点については来年度以降積極的に整備をしていきたい。ICT 機器については、使用に関して不安を抱く方も少なくないことから、そういった側面にも配慮し、講座の充実を図っていきたい。</p>
浅野委員	<p>学校に関しての話になるが、このコロナ禍においては、授業参観をライブ配信形式にしたり、学級懇談会を zoom を使用して行うなど、ICT を活用して行っている。ただ、その一方で直接体験をする大事さもある。例えば、馬宮東小学校では運動会を学年ごとに児童と保護者を一方通行で校庭に入場させるなどの工夫をして行った。公民館の話になるが、来年度から家庭と地域で子どもたちを育てる「コミュニティスクール」が始まるが、公民館では教育課程で扱えない内容をダイナミックに扱うことができる。そういった点が、公民館の良いところであるし、地域で子どもたちを育てるという意味で、そこに期待をしたい。</p>
加藤（美）副委員長	<p>北区の取組は、小学生を対象にプログラミングを行う講座であったが、学校で配付されているタブレット端末は普段使いが目的であるはずなので、それを公民館の講座参加の際に持参してもらうことも可能ではないだろうか。公民館がツイッターなどで講座の周知を行った点については、今までその公民館を利用したことがない方にも情報が伝わるという意味で良い取組である。他の機関と連携して講座を企画・実施している館の取組は効果的であり、事前準備も講座化することで、受講しやすくなると思う。ICT に関連した事業に、例えばスマートフォンでできる脳トレなどのゲームを内容に組み込むことで、若者や高齢者であっても興味を持ち参加しやすくなると思う。近頃はスマートフォンを持っている方が多いため、スマートフォンに関する講座を充実していった方が学習成果を活用しやすいく考える。</p>
山中委員長	<p>全体的な話になるが、この審議を進めていく上で、まずは課題の洗い出しが必要である。ICT をテーマとしている講座もあれば、それを活用して行っている講座もある。講座の目的と内容への ICT の関わり方は様々であったが、講座の目的・内容・方向性がどれだけ合致していて、課題は何であるのか、まずは整理する必要がある。</p>

- ・ICT関連事業アンケートについて説明を事務局より行った。

小林委員	公民館講座を受講し、その学習成果を何につなげることができるのか、その点を考えながら講座の企画を行うと良い。また、さいたま市の公民館として、最終的な落としどころがどこになるのか、先ほど申し上げたセキュリティ面も考慮しながら、そういった点も考える必要がある。なお、アンケートの質問項目の選択肢にメールの送信方法があるが、すべてのスマートフォンで同じようにメールの送信ができるわけではない。
事務局	アンケートの各質問項目の選択肢については、ICT関連が不得意な方でもわかりやすいよう、簡単な聞き方をし、それに対する回答を積み上げていく。そういった意図からそのような選択肢とした。また、アンケート裏面（１）で「いいえ」と回答した場合に、その理由を問う質問項目も追加を検討したい。
山中委員長	小林委員がおっしゃる通り、このアンケートに対する回答をどのように使うのか、公民館の中で共通認識できるかどうか重要である。また、（４）について、回答する側が答えづらいと思う。このアンケートについては、まだ修正する機会はあるのか。
事務局	まだ修正の機会はあるが、４月には各館に配布したいと考えている。

- ・事務局からe公民館について説明後、動画を放映した。

山中委員長	このe公民館の紹介は答申に関わっての紹介ということか。
事務局	諮問内容に関連する取組事例として紹介したものである。
大塚委員	私は岩槻本丸公民館からの依頼で、e公民館の撮影を行った。撮影にあたっては役所内での決まり事などもあるかと思うので、それについて学ぶための講座があると大変助かる。
大野館長	基本的にe公民館は公民館が作るものであるが、大塚委員が所属するサークルに一任し、公民館が緊密に関わることができなかつたところは反省点であると感じている。
事務局	著作権など一般的な制限については留意していただく必要があるが、それ以外について特に制限を設けていない。

## 11 その他

さいたま市公民館ビジョン取組状況及び優良公民館表彰については次回報告する旨、事務局より説明をした。

## 12 閉会